

2021年3月12日

「健康経営優良法人 2021（大規模法人部門）」認定を 2年連続で取得

協和ファーマケミカル株式会社（本社：富山県高岡市、代表取締役社長：大島悦男）は、昨年に引き続き、保険者と連携して特に優良な“健康経営”を実践している法人として、3月4日（木）に経済産業省と日本健康会議により、「健康経営優良法人 2021（大規模法人部門）」の認定を受けました。

「健康経営優良法人制度」とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な“健康経営”を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰する制度です。



協和ファーマケミカル株式会社は「Wellness Action 2020 GOALS」を掲げ、全ての従業員が能力を最大限に発揮できる環境を整備し、「個人のワークとライフの充実」と「会社の持続的な成長」を同時に達成することを目指しています。この活動を通じて、スマート休暇（5日間の連続休暇）の取得推進、メンタルヘルス、運動の機会の提供などに取り組んできました。

今後も、これまでの取り組みをもとに、お客様に「健康」をお届けする医薬品原薬メーカーとして、従業員一人ひとりが健康で質の高い豊かな人生を送ることができるよう、積極的に健康づくりを行う環境・機会をつくっていきます。また、引き続き生活習慣病などの疾病予防の取り組みを推進していきます。

協和ファーマケミカル株式会社は、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

以上